



2024(令和6)年2月16日

福山市立日吉台小学校

5年学年通信 No.30

## 新たな一歩!!

2月9日(金)に児童会会長選挙をしました。「水成真翔くん」「藤井敢太郎くん」「黒木日南子さん」「寺内悠希くん」「藤永來未さん」「三吉龍瞳くん」が立候補しました。「どんな学校にしていくか。(スローガン)」と「そのために、どのような取組をしていくか。」について話しました。6人とも、自分の考えに自信をもち、大きな声で堂々と演説をすることができました。また、この選挙に向けて、立候補者の応援をしていたメンバーも、頑張っていて活動していました。協力しながら、活動している姿を見て、「こんなに一生懸命頑張ることができる5年生が、6年生になったらどんな日吉台小学校にかわっていくかな。」と楽しみになりました。

6年生からのバトンは、5年生に一つずつ渡されています。これからの行動が楽しみです。



選挙を通してついた力

水成真翔

僕は、児童会会長選挙に立候補して、多くの経験をした。その中でついた力が二つある。

一つ目は、協力する力だ。担当の先生や、推薦者のみんなと一緒に話をして行動をしたりした。

二つ目は、自分の考えを伝える力だ。選挙に立候補したら、自分の公約を伝えないといけない。その時に、どうすると伝えることができるか、相手に問いかけて納得してもらおうと良いと考え、伝える練習をした。

あまり体験することができない「選挙」という活動で、生きていく中で大切なことを多く学べた。また、自分が会長になって、これから学んだことを生かして行動していこうと思った。

水成君が児童会会長に

岩村 壮絆

僕は、児童会選挙に立候補した水成くんの推薦者として、一緒に活動していくことになった。

僕の役割は、水成くんの良い所を考えて、みんなに伝えることだ。考えた文章を画用紙に書いて選挙ポスターを作った。二人の友達にも手伝ってもらった。

教室を回って、いよいよ推薦文を言う時だ。他の学年に言うのは、緊張した。しかし、友達と一緒にやり切ることができた。そして、四日間の演説が終わり、僕の役割は終わった。でも、僕には、まだ役割がある。それは、体育館で演説する水成君を応援することだ。

いよいよ演説が始まった。一人、二人、三人と終わり、水成君の番だ。緊張しているようだったが、最後まで言い切った。「全校の前で、堂々とできるのはすごいな。僕には、できないな。こんなことができる水成君は、すごいな。」と思った。そして、「水成くんがたくさんの方が投票してくれよう。」と願った。

給食放送が始まった。選挙管理委員の人が、「児童会会長は、五年一組水成真翔くんです。」と言った。みんなの拍手とともに、僕は、心の中で、「やった。」と叫んだ。

水成くんが、頑張って演説文や選挙ポスターを作っていたから、児童会会長にたどり着いたんだと思った。そんな水成君の推薦者として、僕もよく頑張ったなと思った。そして、これからも、水成くんと一緒に様々な活動をしていきたい。